

永年の功績が讃えられ叙勲を受章

平成21年 秋の叙勲・危険業務従事者叙勲

公共の利益のために、それぞれの道で永年にわたって尽力され、多大な功績を残された方々に贈られる叙勲や叙位叙勲及び警察官や自衛官ら危険性の高い仕事に従事した危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。(順不同)



秋の叙勲

旭日小綬章



いしかわ よしかず
石川 善一氏
(石川東恩納)
地方自治功労
元うるま市議

瑞宝双光章



さくだ ちようこう
佐久田 朝孝氏
(与那城)
行政相談功労
行政相談委員

瑞宝単光章



たか え す よしたけ
高江洲 義竹氏
(栄野比)
矯正業務功労
元法務教官



危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章



もり いさむ
森根 勇氏
(与那城屋慶名)
矯正業務功労
元法務事務官



叙位叙勲

旭日単光章



おおかね よしもり
大兼 良守氏
(喜屋武)
警察功労
元県警部

正六位

山根 勉氏
元与那城町長 (9月13日逝去)

従六位瑞宝双光章

上門 清氏
元小学校校長 (10月6日逝去)

うるま市とブラジルの架け橋に

平成21年度 うるま市海外移住者子弟研修生受入事業



名前 ひがじょう ひでき 比嘉門 秀樹 ビトル
祖父が与那城上原の出身。日系3世。
年齢 26歳
趣味 カメラ、音楽鑑賞

うるま市では、市出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れています。この事業は、研修を通して郷土うるま市の現状や沖縄の伝統、文化等を理解してもらい、移住先国の発展に寄与する人材の育成や国際交流を図ることを目的に実施しています。

今年は、9月9日から12月3日の約3か月間、ブラジルから比嘉門 秀樹 ビトルさんを研修生として受け入れており、秀樹さんは市内企業の視察や沖縄市内にあるヒスパニック文化センターで、他市町村の研修生と共に日本語と日本・沖縄の文化について学んでいます。



三線の研修を受ける比嘉門さん (前列左)